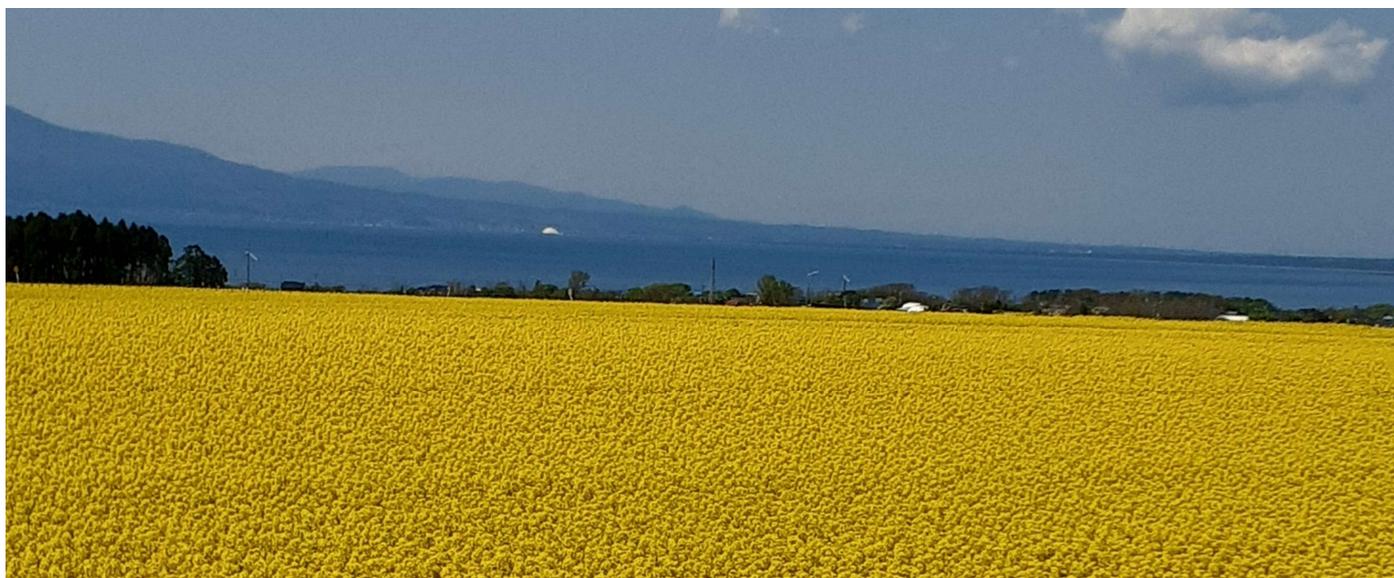


おうかくれない

黄花紅の東むつ湾ルート

人々の心を和ます癒しの景観を守り育てる活動が進められています！



▲「黄花紅の東むつ湾ルート」国道279号沿いの菜の花が畑一面に開花し、来訪者を歓迎する。

青森県野辺地町を起点とし横浜町に至る「黄花紅の東むつ湾ルート」は、下北半島の付け根に当たる国道279号であり、ホタテ養殖・なまこ漁などの漁業が盛んで風光明媚な陸奥湾を望み、自生するハマナスや日本有数の作付面積を持つ菜の花など自然美と農漁村風景にあふれたルートです。

海の幸・山の幸にも恵まれる食材の宝庫であり、自然を中心としたプログラムをはじめ、ゆっくりと散策するだけでも訪れる人々の心を和ます癒しのルートとなっています。



▲ 全国各地で人気を集めている「なたね油」
左 卸なたね油 右 天日干しのなたね油

毎年、菜の花開花期間中（5月初旬～下旬）に開催している「菜の花フェスティ



▲2023年に開催した、「菜の花フェスティバル in よこはま」イベントステージの様子

バル」には多くの人を訪れ、賑わっています。期間中は菜の花の大迷路、菜の花マラソン、特産品販売などイベントを行っています。



▲ 2023年に開催した、「菜の花フェスティバル in よこはま」大迷路の様子

また、横芝町で菜種を無農薬、無化学肥料で栽培し、種まきから刈り取り、脱穀、天日干しまで全て手作業で行い、搾った菜種油を製造・販売しています（NPO 法人菜の花トラスト）。町内の休耕地を活用し、菜の花畑を育てる活動を展開しています。

また、2009年度に農林水産大臣賞を受賞した「御なたね油」をはじめ同町産菜種を使った加工品を開発・販売しています。

菜種を使った加工品の過程では、「農業体験活動」を行っています。地域の小中学生と一緒に、親睦や交流を兼ねた菜の花の種まきや収穫を行っています。

2023年、10年ぶりとなる農業体験活動が実施されました。菜の花の収穫から刈り取った菜の花を集め、足で踏み込んでかさを減らし、菜の花の山を叩き、さやを割って種を落とし、開き切らなかったさやは指で一つずつ割っていきます。参加した小学生たちは、実際に体験・経験することで「なたね油」づくりを知るきっかけとなっています。



▲ 小学生による刈り取り体験



▲ 菜種の作付け風景



▲ 地域の小学生と一緒に親睦や交流を兼ねた農業体験活動



▲ 菜の花畑の様子

「黄花紅の東むつ湾ルート」では、地域の人々が誇りを持ち、「食」や「歴史」「伝統文化」の資源をさらに磨きあげ、訪れる人々に感動を与える景観道づくりを進めています。